

3月11日午後2:46頃、三陸沖を中心とする東日本大地震があり、宮城県栗原市で震度7と国内最大の揺れに北海道から九州に掛けての広い範囲で、震度1から東京23区震度5強、横浜震度5弱、戸塚区俣野町は震度4強の揺れに見舞われました。同時に宮城、岩手、福島、茨城の海岸線を襲った大津波は甚大な死者、行方不明者を増やしました。

さらに福島第一発電所で原子力発電所の事故が起こり放射能漏れの可能性があることが原子力安全・保安部より発せられ、夕刻政府により原子力緊急事態宣言が発令になったことは、記憶に生々しく残っていることでしょう。

皆さんの当日の被災はもう収まった事と思いますが、現地災害に遇われた方はこれから長い時間を掛けて町を復旧・復興をしていかなければなりません。改めて亡くなられた方々、被災に遭われた方に哀悼の意を申し上げますとともにお見舞いを申し上げます。

今回の記事は「地震に対する備えをもう一度」をタイトルとして取り上げました。

住民の皆様の体験と合わせて熟読されては如何でしょうか。

いざという時に助け合えるよう、階段のご近所同士のつながりを大切に、一人ひとり自分の身を守るために、十分に備えておきましょう。

常日頃準備するもの

1. 三日分の水、食料、トイレパック、手元現金等
2. ラジオ、懐中電灯、コンロ、携帯電話
3. 単一、二、三、四電池の予備



常日頃の災害に対する心構え

1. 風評に惑わされないよう的確な情報を得る。
2. 家庭内での安否確認を取る方法として電話以外の携帯電話メール等を利用する。
3. 消火活動をするときはまず「非常用ボタン」を押してから。
4. 停電時のエレベーターはその場で止まり、閉じこめられます。非常ボタンで災害対策本部へ連絡。
5. トイレ、台所、洗面所、風呂場の水を流さない。汚水排水システムの破損なしが確認されてから使用する。
6. 各個配布の防災ファイル「防災通信」を防災マニュアルとして活用する。

家具類の転倒・落下防止方法

1. 転倒防止金具などで固定し、倒れにくくしておく。
2. サイドボード、食器棚、窓などのガラスが飛散しないようにしておく。
3. 本棚や茶ダンスなどは、重いものを下の方に収納し、重心を低くする。
4. 棚やダンスなどの高い所に危険なものを載せて置かない。
5. 食器棚などに収納されているガラス製品（ビン類）などが転倒したり、滑り出さないように防止枠を設ける。
6. ガラスには、ガラス飛散防止フィルムを張る。
7. つり棚などの開き扉は、掛金などにより扉が開かないようにする。

お知らせ

- *AED講習会：8月27日（土）10時から
第一集会所 洋室 参加者募集します。
- *防災訓練：9月25日（日）10時から
安否確認、避難誘導、ライフライン欠如訓練

防災通信は防災ファイルに綴じて下さい。

1 グラツきたら身の安全



5 正しい情報 確かな行動



2 落ちついて 火の元確認 初期消火



6 確かめ合おう 我が家の安全 隣の安否



3 窓や戸を開け 出口を確保



7 避難の前に安全確認 電気・ガス



4 落下物 あわてて外に飛び出さない



8 協力し合って救出・救護

